

岩高短歌

くワタシタチノウタ

月間優秀作品

R元⑦

【十一月】お題「九〇年式典」・「岩高祭」・「就職・入試」

月間賞

どっしりと歴史を感じる学舎まなびやが朝日を浴びて銘記されゆく

二―三 鈴木 日和

第二席

直前の天気予報をはねのけて雲の代わりに熱気を空へ

三―二 佐藤 優希

第三席

ドキドキで地下鉄乗って歩く道春からそこが通学路

三―三 遊佐 真矢

優良賞

えんぴつがシャープペンシルにそしてまたボールペンに変わってゆく
 内定の二文字見るたびニヤけちゃう自分の夢に近づくと一歩
 気がつけば空気は白く冷え切って近づいてくる新年の音

三―一 千葉 奈津美
 三―三 高橋 優芽
 二―一 菊地 茉帆

佳作

緊張で味も分からずおにぎりも試験が終わればとてもおいしい
 初披露目ライトに当たるダンス部が連続踊り汗が沸き立つ
 岩高の歴史が重なり愛されて個々の道にはばたいてゆく
 月光で妖しく浮かぶ影たちが今宵も求む仲間の声を
 一枚の紅葉の葉っぱ落ちてきた色はあざやか僕だけの色
 初めての岩高祭で実行委員暗闇の中進み抜けたり
 初めての岩高祭は新鮮で学んで笑えた最高の時間
 秋の空渡り鳥がすぎてゆく森の獣も冬への支度

一―三 佐々木 涼花
 一―二 釜石 柊那
 一―二 安田 唯
 一―二 廣瀬 亜美
 一―二 佐藤 哉斗
 一―三 佐々木 涼花

入選

岩高祭ステージ立ったらそこはもう世界の中心盛り上がりようよ
 待ち遠しいそう思ってたけどもう今は思い出に変わった岩高祭
 教室のすきまで聞いたイヤホンの片方とれてにぎわい知った
 守るべきものがあるから頑張れる春から俺は自衛隊員
 寒風が吹く中漂う焼き鳥のにおいにつられた食欲の秋
 病熱に浮かされながら君想う私も共に笑いたかった
 歴代の卒業生の一握り校舎に集って思い出に浸る

三―二 小林 歩夢
 三―二 須藤 雄人
 三―三 氏家 鉄朗
 三―三 菊地 清太郎
 三―三 櫻田 里実
 二―二 佐々木 愛梨
 二―三 沖田 希望
 二―三 伊藤 玲奈
 一―一 中沢 花
 一―二 佐々木 一葉

過去に今変わらぬ歴史続けよう未来につなぐストーリー
 紅葉の日の恵みから差し込んで僕らは前にひたすら歩く
 岩高祭努力のつぼみが花開く笑顔満点青空レストラン
 たくさんの思い出育てた六年間青春のパズルがうまってゆく

一―二 廣瀬 亜美
 一―三 跡部 冬花